

宿泊業の原点“おもてなし”から経営を考える

おもてなし経営の キモと実践

受講
無料

セミナー内容

第1部 講師:安徳 勝憲氏

長崎国際大学 特任教授/長崎県観光審議会 委員長/
佐世保商工会議所「佐世保観光塾」専任講師



昭和49年に現IHG・ANA・ホテルズグループジャパンに入社。海外駐在10年を含み約30年間、ホテルの開発業務、運営に従事。平成17年3月、本社執行役員兼ストリングスホテル東京取締役総支配人を最後に退職。

同年4月より長崎国際大学人間社会学部国際観光学科教授に就任。ホテル事業論、ホスピタリティ概論などを教える。平成28年3月末、定年退職。同4月からは文部科学省の地方創生事業(COC+)に携わっている。

いま五島は世界遺産登録という、またとない追い風が吹き始めています。このチャンスを最大限活かすためにも、観光産業全体のベースキャンプである宿泊業の飛躍が必要不可欠です。

政府は生産性を上げるための「働き方改革」として、残業規制、同一職種同一賃金、女性の雇用などを促しています。また最近ではビッグデータ、イノベーションなどの必要性も叫ばれています。しかし私は、ホテル・旅館の場合は、経営トップが自ら「ホスピタリティマインド」の重要性を理解し体現し、それを愚直に、粘り強く社員に浸透させていくことが肝要であると考えます。

セミナーは、講師の一方的な演説ではなく、旅館・ホテルの経営者・経営管理職の皆さんにも参加していただく双方向のワークショップ的なものと考えています。そして、お客さまを最前線でもてなす社員の皆様のホスピタリティマインド向上の道筋をご案内できれば幸いです。

第2部 講師:草野 有美子氏

有限会社小浜伊勢屋旅館 代表取締役 大女将
小浜温泉女将の会 会長

旅館の女将として、経営者として、お客様はもちろん、従業員との関係においても良好な関係を保つための“おもてなし”を、長年現場で実践してきました。

宿泊施設の悩みは、立地や規模に関係なく、共通するものがあると考えています。おもてなし向上にむけて、経営者や現場責任者がその重要性を感じ、どう取り組んでいくのか。私の経験が、お客様や従業員との関係を良好にする“おもてなし”実践のきっかけとなれば、との想いでお話します。

昭和54年に伊勢屋旅館の女将、平成30年3月から大女将となる。平成25年～30年5月まで長崎県商工会連合会女性部副会長、平成26年から小浜温泉女将の会会長。趣味は、地域を元気にすること。自称「小浜温泉と雲仙市の広報部長」。



日時・場所

平成30年9月11日 火

第1部 13時00分～14時50分

第2部 15時00分～16時00分

福江総合福祉保健センター 2階研修室
(五島市三尾野1丁目7-1/電話:0959-74-5831)

定員及び申込み方法・〆切

定員:50名(事前申込制、定員に達し次第締切)

申込方法:裏面の申込書に記載のうえ、ファックスで県経営支援課へお送りください。

申込〆切:平成30年9月7日(金)

※なるべくお早めにお申込ください。

※県ホームページ(経営支援課)から本チラシをダウンロードできます。



長崎県/長崎県サービス産業生産性向上推進協議会 主催

宿泊業生産性向上セミナー
おもてなし経営のキモと実践（9/11）
参加申込書



お申込み方法 *送付状は不要です。

●ファックス ⇒ **095-895-2580** (県経営支援課)

●申込〆切 平成**30**年**9**月**7**日(金) ※なるべくお早めにお申込ください！

		申込日:平成30年 月 日	
会社名/ 団体名			
所属・役職	①	②	
フリガナ	①	②	
お名前			
所在地	〒 (-)		
E-mail (メールでご連絡 する場合があります ので、必ず記載 願います)	①	②	
連絡先	電話 () - -	FAX () - -	

お問い合わせ先

長崎県 産業労働部 経営支援課 サービス産業振興班(担当:奥藤)
TEL: 095-895-2653 FAX: 095-895-2580
E-mail: s05570@pref.nagasaki.lg.jp